



2022年3月期第1四半期決算報告 2022年3月期業績見通し



コ ー プ : 5 9 8 5

2021年8月5日

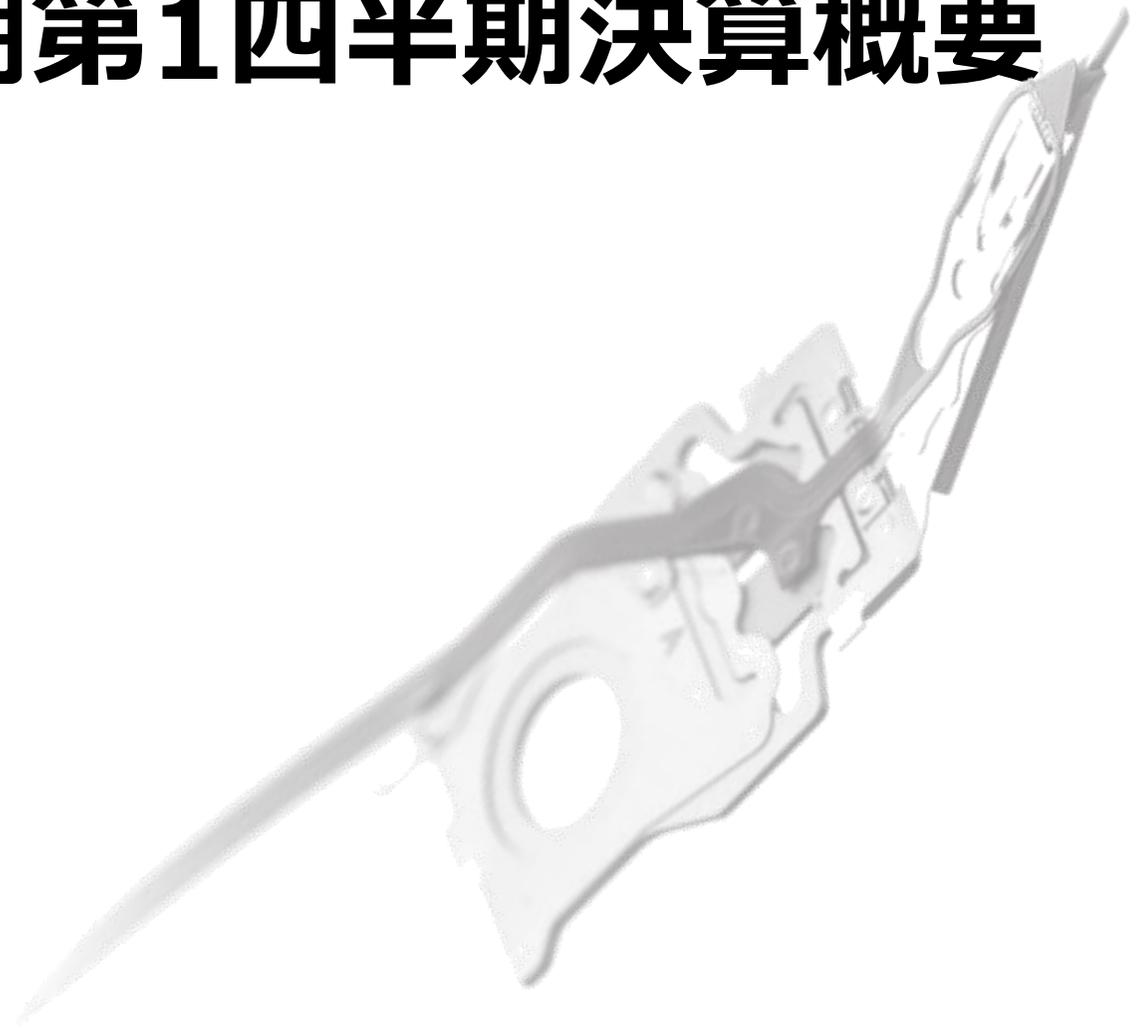
©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

A decorative grey gear is located in the top-left corner of the slide.

1.2022年3月期第1四半期決算概要

2.2022年3月期業績見通し

2022年3月期第1四半期決算概要



2022年3月期 第1四半期 決算のポイント

- 売上高 **11,726百万円（前年同期比 +47.2%）**
- 営業利益 **323百万円（前年同期：▲745百万円）**

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から幅広い分野で回復
 自動車分野、電子情報通信分野ともに前年同期比増収

自動車分野

前年同期売上比+52.1%

* 材料関連

弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復

* 自動車関連

半導体不足の影響が多少あるものの、自動車生産の回復により増加

電子情報通信分野

前年同期売上比+44.3%

* HDD用サスペンション

データセンター投資増に伴う需要が高水準で推移

* プリンター関連

リモートワークに伴う家庭用特需が継続

2022年3月期 決算概要

- 売上高 新型コロナウイルス感染拡大の影響から大きく回復し前年同期比+3,762百万円の増収
自動車関連の売上回復および、電子情報通信関連の需要が高水準を維持
- 営業利益 増収に伴い営業利益323百万円を計上。前年同期比+1,069百万円の収益改善

(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期		
		実績	実績	2021年3月期 第1四半期比 (額)
売上高	7,964	11,726	+3,762	+47.2%
営業利益	▲745	323	+1,069	—
経常利益	▲876	404	+1,280	—
四半期純利益	▲680	270	+950	—
一株当たり利益	▲21.52円	8.53円	+30.05円	—
平均為替レ — ト	107.6円/ドル 118.4円/ユーロ	109.4円/ドル 131.9円/ユーロ		

2022年3月期 第1四半期 製品区分別売上

■ 自動車分野

材料関連：弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復し前年同四半期比+32.2%増収
 自動車関連：半導体不足の影響が多少あるものの、全製品で売上が回復。特に電動車用バスター、シフトバッチャー関連製品が大きく伸長し、前年同四半期比+58.8%増収
 （2020年3月期第1四半期比+1.2%と、コロナ前の水準まで回復）

■ 電子情報通信分野

HDD用サスペンション：データセンター投資高水準で需要堅調、前年同四半期比+56.2%増収
 プリンター関連：家庭用特需が継続し、前年同四半期比+36.1%増収

■ その他

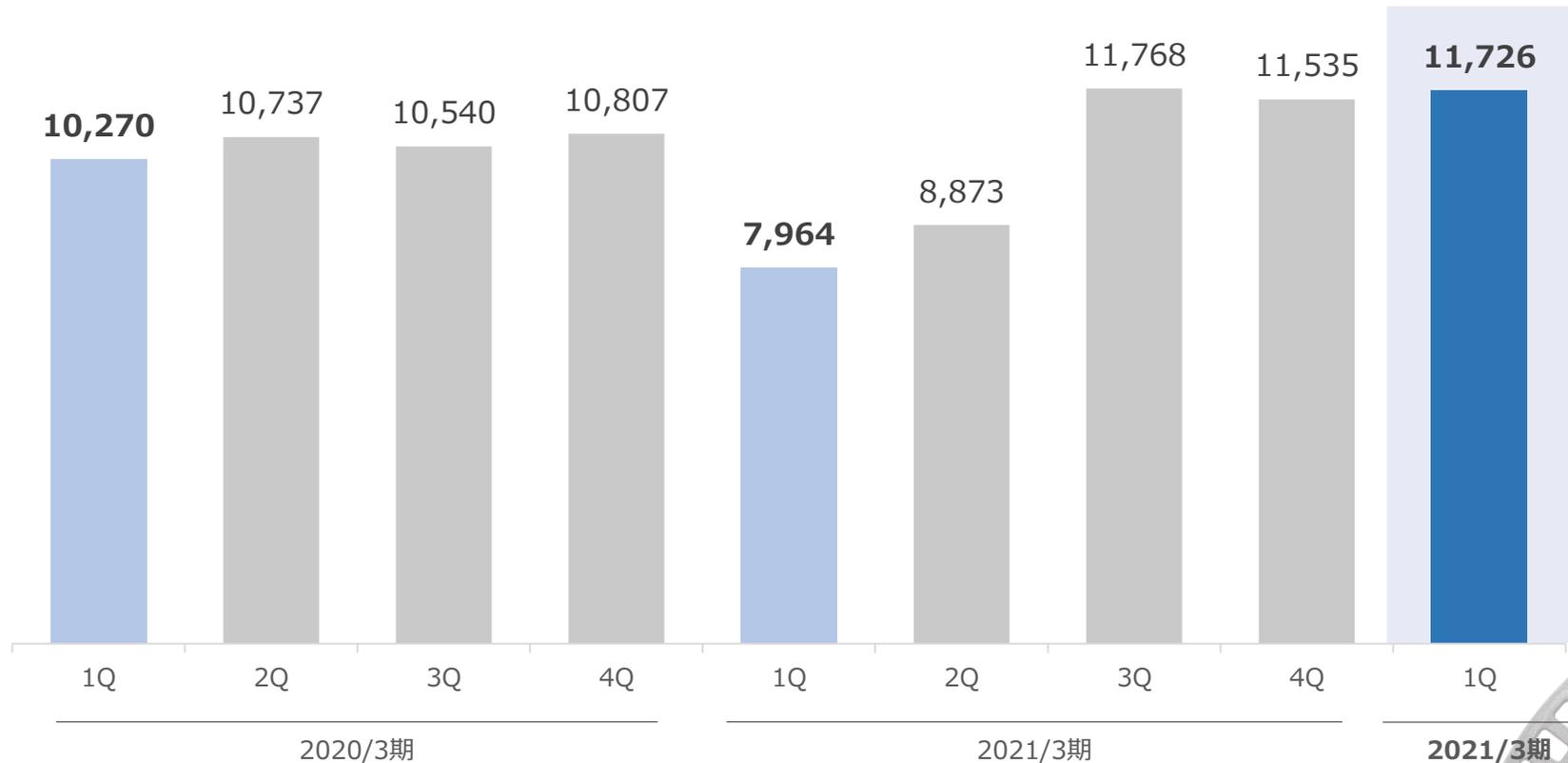
携帯電話部品：昨年12月で生産終了

(百万円)	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期		
	実績	実績	実績	2020年3月期 第1四半期比	2021年3月期 第1四半期比
売上高	10,270	7,964	11,726	+14.2%	+47.2%
自動車分野	7,481	5,349	8,137	+8.8%	+52.1%
材料関連	1,184	1,344	1,778	+50.1%	+32.2%
自動車関連	6,296	4,004	6,359	+1.2%	+58.8%
電子情報通信分野	2,591	2,343	3,380	+30.4%	+44.3%
HDD用サスペンション	1,532	1,373	2,146	+40.1%	+56.2%
プリンター関連	839	746	1,015	+21.0%	+36.1%
通信関連	220	223	218	▲0.7%	▲2.1%
その他	196	271	208	+5.7%	▲23.5%

2022年3月期 第1四半期決算 売上高推移

- 自動車関連の回復および電子情報通信関連の需要好調により、前年同四半期比で大きく増収。新型コロナ感染拡大以前の2020年3月期第1四半期比でも増収達成。

(百万円)



2022年3月期 第1四半期 地域別売上高

- 日本 自動車分野 : 新型コロナ感染拡大の影響から回復し大幅増収
- 米国 自動車・通信関連 : 新型コロナ影響の少なかった前年同期(1-3月)と比較し微増
- 中国 自動車分野 : 新型コロナ感染拡大の影響から回復し、大幅増収
- フィリピン HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続
- その他 HDD用サスペンション : タイ向けの納入増加他

(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期		
	実績	実績	前期比	
売上高	7,964	11,726	+3,762	+47.2%
日本	2,738	4,780	+2,042	+74.6%
米国	908	955	+46	+5.2%
中国	701	1,330	+629	+89.7%
フィリピン	1,325	1,844	+519	+39.2%
その他	2,290	2,815	+524	+22.9%

2022年3月期 第1四半期 連結貸借対照表

- 固定資産増加 : HDD用サスペンションや自動車関連への能増投資により有形固定資産増加+956百万円
株価下落により投資有価証券▲570百万円
- 流動負債増加 : 買掛金+749百万円
- 固定負債減少 : 長期借入金▲185百万円、繰延税金負債▲164百万円
- 純資産増加 : 当期純利益+270百万円、配当金▲287百万円
為替換算調整勘定+490百万円、投資有価証券評価差額▲405百万円

(百万円)	2021年3月期末		2022年3月期 第1四半期末	
	実績		実績	前期末比増減額
流動資産	25,207		25,279	+71
現預金	7,570		6,914	▲656
売上債権	9,996		10,683	+686
棚卸資産	6,465		6,919	+453
固定資産	28,167		28,513	+346
総資産	53,375		53,793	+418
負債合計	17,054		17,448	+394
流動負債	13,781		14,529	+747
有利子負債	2,802		2,734	▲68
固定負債	3,272		2,919	▲353
有利子負債	1,541		1,337	▲204
純資産合計	36,320		36,344	+23
負債純資産合計	53,375		53,793	+418

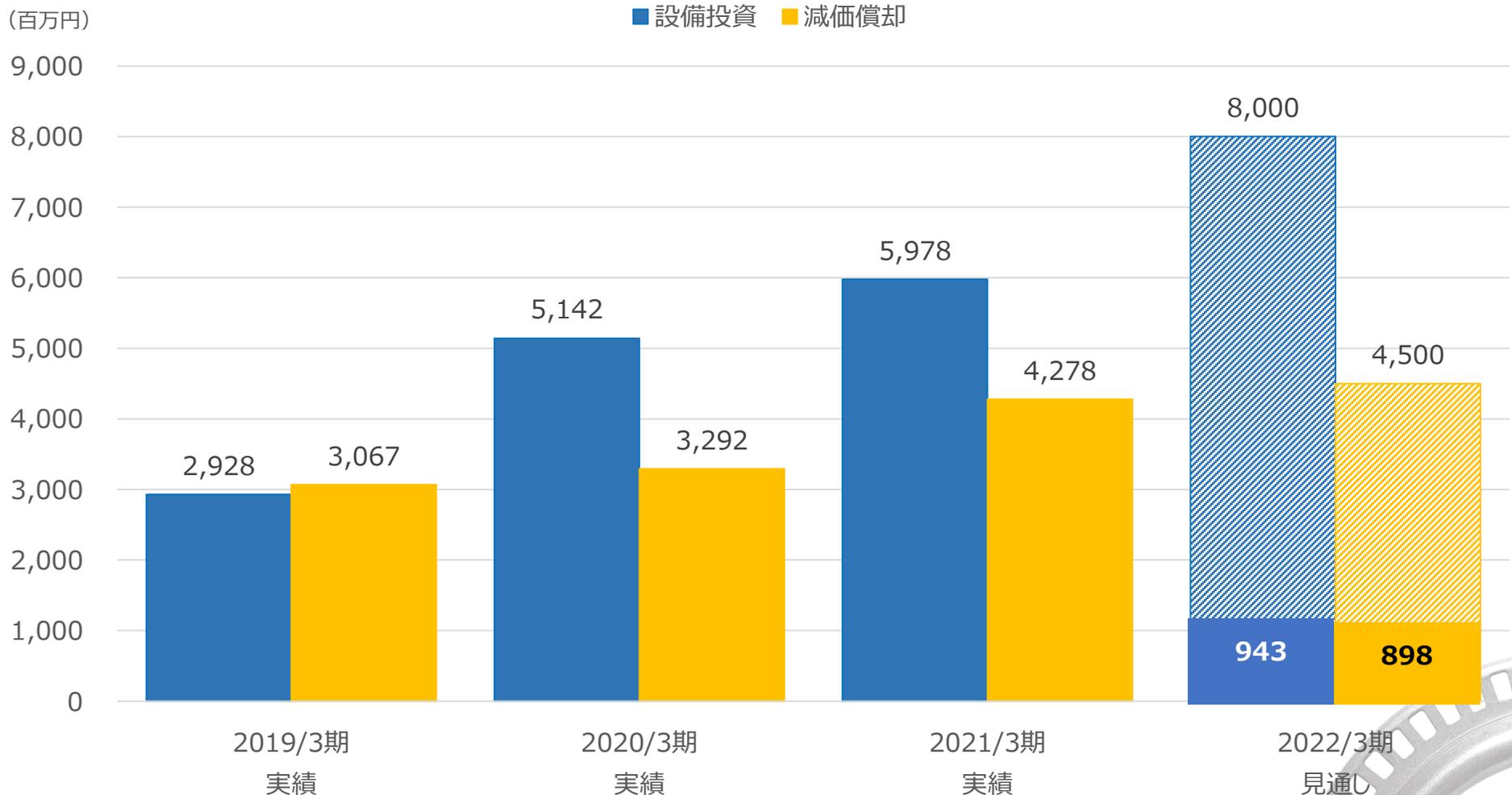
2022年3月期 第1四半期 キャッシュ・フローの状況

- 営業C/F : 税引前当期純利益が前年同期比+1280百万円
- 投資C/F : HDD用サスペンションを中心に高水準の設備投資を継続

(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,050	1,444	+394
税引前当期純利益	▲883	397	+1,280
減価償却費	892	898	+5
売上債権・仕入債務増減	1,699	167	▲1,532
棚卸資産増減	▲660	▲310	+349
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,085	▲1,535	▲449
有形固定資産取得	▲1,063	▲1,510	▲447
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲707	▲745	▲37
短期借入金増減	86	0	▲86
長期借入金増減	▲441	▲404	+36
配当金支払	▲291	▲291	+0

2022年3月期 設備投資・減価償却の状況

- 1Qは自動車分野・HDD用サスペンションを中心に943百万円の設備投資を実施
- 新製品・成長製品への投資継続（年間設備投資・減価償却費計画は変更なし）



※上記設備投資額については完成ベース

2022年3月期通期業績見通し



2022年3月期 業績見通しのポイント

過去最高売上、上期および通期業績予想を上方修正（下期は据置き）

- **売上高 47,600百万円（前回予想比 +600百万円）**
- **営業利益 650百万円（前回予想比 +250百万円）**

自動車分野

（前回売上予想+200百万円）

* 材料関連：

自動車生産の回復継続
 弁ばね用鋼線は需要好調

* 自動車関連：

自動車生産の回復継続
 重点戦略製品の拡販(バスバー、ローターコア他)

電子情報通信分野

（前回売上予想+500百万円）

* HDD用サスペンション：

データセンター投資増で需要は高水準

* プリンター関連：

家庭用向け好調継続

2022年3月期 業績見通し

- 売上高 自動車生産回復およびHDD用サスペンションの増加により、前期比+7,460百万円
また、前回予想比+600百万円の上方修正
- 営業利益 増収に伴い、前回予想比+250百万円の利益増
- 経常利益 上記営業利益増+メキシコ子会社の為替差益を織り込み

(百万円)	2021年3月期	2022年3月期					
	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	前年通期 実績比(額)	前回通期 予想	前回通期 予想比(額)
売上高	40,140	23,700	23,900	47,600	+7,460	47,000	+600
営業利益	▲1,293	440	210	650	+1,943	400	+250
経常利益	▲1,000	580	270	850	+1,850	500	+350
当期純利益	61	430	280	710	+771	470	+240
一株当たり利益	1.95円	13.68円	9.44円	23.12円	+21.17円	14.83円	+8.29円
平均為替レ-ト	106.1円/ドル	107.2円/ドル	105.0円/ドル	106.1円/ドル			
	123.7円/ユーロ	126.5円/ユーロ	121.0円/ユーロ	123.8円/ユーロ			

下期予想については、半導体不足や原材料価格の高騰等、不確定要素が多く、現在精査中であり、前回予想から変更していません。

2022年3月期 製品区分別売上高見通し (前年実績比)

自動車分野の回復、電子情報通信分野での更なる伸長を見込む

- 自動車分野
 - 材料関連 : 自動車生産の回復による増加、欧州向け拡販
 - 自動車関連 : 自動車生産の回復による増加、重点製品拡販(バスバー、ローターコア他)
- 電子情報通信分野
 - HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続
 - プリンター関連 : 在宅勤務増加に伴う家庭用特需が継続

(百万円)	2021年 3月期	2022年3月期		
	通期実績	今回予想	前期比	
売上高	40,140	47,600	+7,460	+18.6%
自動車分野	27,039	32,200	+5,161	+19.1%
材料関連	5,399	6,500	+1,101	+20.4%
自動車関連	21,639	25,700	+4,061	+18.8%
電子情報分野	12,106	14,700	+2,594	+21.4%
HDD用サスペンション	7,871	10,200	+2,329	+29.6%
プリンター関連	3,271	3,400	+129	+3.9%
通信関連	963	1,100	+137	+14.2%
その他	995	700	▲295	▲29.6%

2022年3月期 製品区分別売上高見通し (前回予想比)

主にHDD用サスペンションが貢献、上期および通期業績予想を上方修正

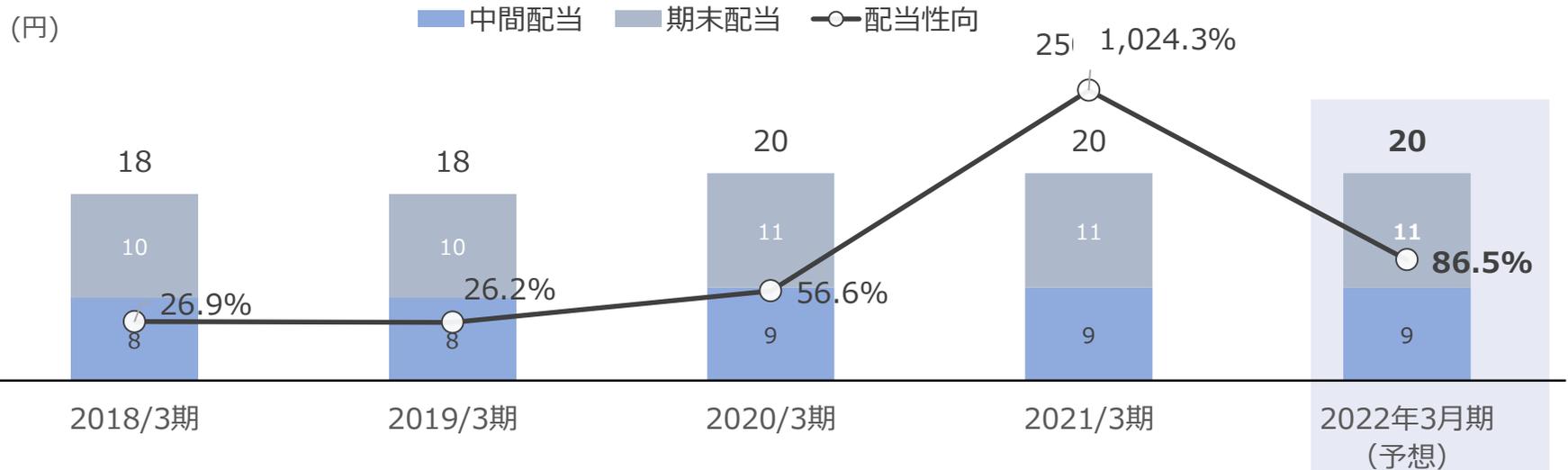
- 自動車関連 : 半導体不足の影響が多少あったが、自動車メーカー生産挽回の動きも出ており
前回予想比+100百万円
- HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続により、前回予想比+600百万円

(百万円)	2022年3月期		
	前回予想	今回予想	前回予想比
売上高	47,000	47,600	+600
自動車分野	32,000	32,200	+200
材料関連	6,400	6,500	+100
自動車関連	25,600	25,700	+100
電子情報分野	14,200	14,700	+500
HDD用サスペンション	9,600	10,200	+600
プリンター関連	3,500	3,400	▲100
通信関連	1,100	1,100	±0
その他	800	700	▲100

2022年3月期 配当方針

- 将来に向けた積極投資の継続による一時的な利益減からの回復途上
⇒「中期経営計画GGP21」の安定配当方針に則り、引き続き年間配当20円を予定

配当方針	当期純利益が	配当下限目標	20円
	25億円まで配当性向	30%	
	25億円超配当性向	40%	



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円
期末配当	10円	10円	11円	11円	11円
年間配当計	18円	18円	20円	20円	20円

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。